

サツキについて



ツツジ科の植物。

盆栽などとして親しまれている。

山おくの岩肌などに自生。

他のツツジと比べ1ヶ月おそい旧暦の5月頃に
いっせいにさく。

サツキツツジとも呼ばれている。
ツツジ類としては、葉が固くて小さく、
茎には強い性質がある。

本来は、溪流沿いの
岩の上に生育し、増水時に
水をかぶっても、引っか
からないような低い姿勢で
生育していたものと、
思われる。
また、日本では、最も多
く用いられている庭木だ
という統計もある。



職場体験の御津中学校2年生の生徒さんが作成しました。

サツキの名の由来

5月に咲き、農民との関わりの
深さも関係している。